

# 工業簿記 工程別総合原価計算

## パターン I 【①②平均法】

A工場では製品Xを製造し、製品原価の計算は累加法による工程別原価計算を採用している。次の【資料】に基づいて、第1工程月末仕掛品の材料費と加工費、第2工程月末仕掛品の前工程費と加工費、第2工程完成品総合原価を計算しなさい。

なお、原価投入額を完成品総合原価と月末仕掛品原価に配分する方法は、第1工程、第2工程ともに平均法を用いること。

第1工程の途中で発生する正常仕損品に処分価値はなく、この正常仕損の処理は度外視法による。第2工程の終点で発生する正常仕損品は167,200円の処分価値があり、第2工程の正常仕損費は工程の終点で発生しているため、すべて完成品に負担させること。

### 【資料】

#### 1. 生産データ

	第1工程		第2工程
月初仕掛品量	500個 (40%)	月初仕掛品量	800個 (30%)
当月投入量	8,000個	当月投入量	7,600個
合計	8,500個	合計	8,400個
差引：正常仕損量	300個	差引：正常仕損量	200個
月末仕掛品量	600個 (50%)	月末仕掛品量	600個 (60%)
完成品量	7,600個	完成品量	7,600個

#### 2. 原価データ

	第1工程		第2工程
月初仕掛品原価		月初仕掛品原価	
材料費	107,500円	前工程費	387,600円
加工費	95,000円	加工費	91,200円
小計	202,500円	小計	478,800円
当月製造費用		当月製造費用	
材料費	1,737,500円	前工程費	( ? )円
加工費	3,697,000円	加工費	3,009,600円
小計	5,435,500円	小計	( ? )円
合計	5,638,000円	合計	( ? )円

- (注) ・ ( ) 内は加工費の進捗度である。  
・ 材料費は工程の始点で投入している。

第 1 工程月末仕掛品の材料費

円

第 1 工程月末仕掛品の加工費

円

第 2 工程月末仕掛品の前工程費

円

第 2 工程月末仕掛品の加工品

円

第 2 工程完成品総合原価

円

## 参考メモ【総合原価計算表・仕掛品ボックス】

### 工程別総合原価計算表

(単位：円)

	第1工程			第2工程		
	材料費	加工費	合計	前工程費	加工費	合計
月初仕掛品原価						
当月製造費用						
合計						
正常仕損品	—	—	—		—	
差引：月末仕掛品原価						
完成品総合原価						

第 1 工程仕掛品－材料費

月初有高		当月完成	
当月投入		仕 損 品	
		月末有高	

第 1 工程仕掛品－加工費

月初有高		当月完成	
当月投入		仕 損 品	
		月末有高	

第2工程仕掛品－前工程費

月初有高		当月完成	
当月投入		仕損品	
		月末有高	

第2工程仕掛品－加工費

月初有高		当月完成	
当月投入		仕損品	
		月末有高	